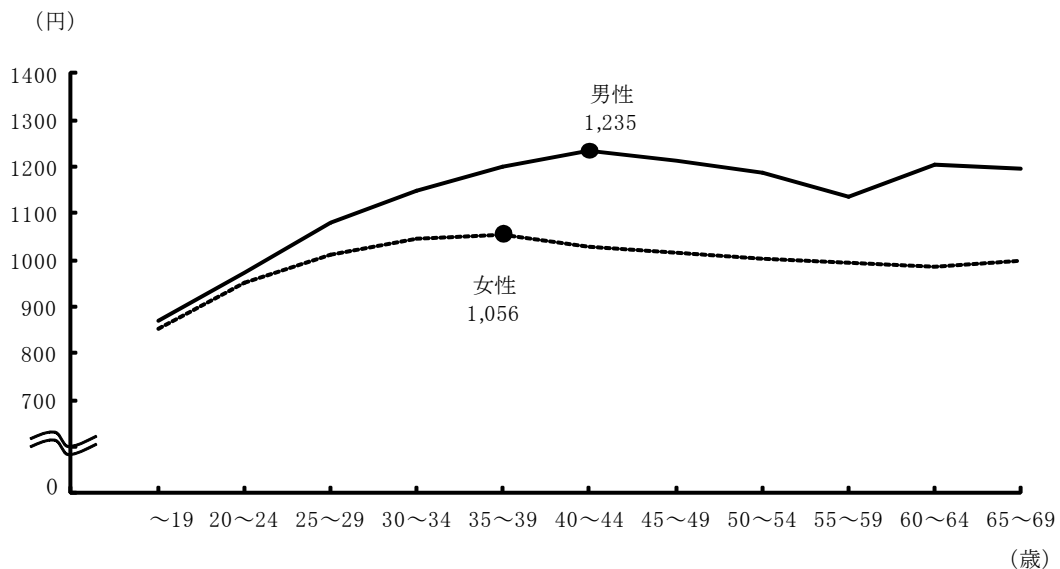


## 2 短時間労働者の賃金

### (1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男性が1,094円（前年比0.2%増）、女性が1,001円（同1.3%増）となっている。男性では、25～29歳以降は1,000円を超えており、40～44歳で1,235円と最も高くなっている。女性では、25～29歳、30歳代、40歳代及び50～54歳で1,000円台となっており、35～39歳で1,056円と最も高くなっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金



第13表 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20~24歳 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20~24歳 =100)
年齢計	1,094	0.2	112	1,001	1.3	105
~19歳	869	0.8	89	852	1.7	90
20~24	974	1.7	100	950	1.9	100
25~29	1,079	0.3	111	1,012	0.2	107
30~34	1,150	1.1	118	1,047	0.1	110
35~39	1,202	2.2	123	1,056	2.5	111
40~44	1,235	4.0	127	1,028	2.0	108
45~49	1,215	-1.1	125	1,014	1.2	107
50~54	1,187	0.2	122	1,004	1.1	106
55~59	1,136	-0.4	117	994	1.6	105
60~64	1,205	-4.9	124	987	0.3	104
65~69	1,196	1.8	123	998	2.3	105
年齢(歳)	41.4			45.1		
実労働日数(日)	15.8			17.3		
1日当たり所定内実労働 時間数(時間)	5.5			5.3		
勤続年数(年)	4.7			5.6		

## (2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,054円（前年比0.1%増）、中企業が1,106円（同0.6%減）、小企業が1,136円（同1.5%増）、女性では、大企業が998円（同1.2%増）、中企業が1,005円（同1.5%増）、小企業が1,002円（同1.4%増）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,054	0.1	100	998	1.2	100
中 企 業	1,106	-0.6	105	1,005	1.5	101
小 企 業	1,136	1.5	108	1,002	1.4	100

## (3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,094	0.2	100
	製造業	1,199	2.3	110
	運輸業、郵便業	1,117	-0.4	102
	卸売業、小売業	1,011	2.2	92
	宿泊業、飲食サービス業	925	1.0	85
	サービス業(他に分類されないもの)	1,055	-2.1	96
女 性	産業計	1,001	1.3	100
	製造業	895	-0.2	89
	卸売業、小売業	940	2.1	94
	宿泊業、飲食サービス業	901	1.2	90
	医療、福祉	1,224	0.2	122
	サービス業(他に分類されないもの)	990	2.8	99

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、さらに、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。